

▼リタリン錠・▼散 [内]

【重要度】 【一般製剤名】メチルフェニデート塩酸塩 (U) Methylphenidate Hydrochloride 【分類】 中枢神経刺激剤 [ナルコレプシー治療薬]

【単位】 ▼10mg/錠, ▼1%散

【常用量】 20~60mg/日

【用法】 分1~2 [タリ以降の内服は避ける]

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 シナプス前終末でのドバミン及びノルアドレナリンの再取り込みを阻害し、シナプス間隙のドバミン及びノルアドレナリン濃度を上昇させて神経系の興奮性を高めるものと考えられている。第一種向精神薬。

【主な副作用・毒性】 剥脱性皮膚炎、狭心症、悪性症候群、脳血管障害、血管浮腫、視調節障害、視調節障害、頭痛、不眠、興奮、消化器症状など

【安全性に関する情報】 痙攣閾値の低下 (1)

【吸収】 非線形に上昇し、初回通過効果の飽和の影響と思われる (1)

【F】 31.4±15.9% (1)

【tmax】 2hr (1)

【代謝】 尿中の主代謝物は脱エステル体のリタリン酸で、投与量の80%を占めている (1) リタリン酸に活性はない (1)

【排泄】 尿中回収率90%でほとんどが不活性体のリタリン酸 [po, 48hrまで] (1)

【CL】 10.5±1.7L/hr/kg (1)

【t1/2】 $ke=0.300\pm0.038/\text{hr}$ (1)

【蛋白結合率】 16% (1)

【Vd】 20.13±8.98L/kg (1)

【MW】 269.77

【透析性】 効率的には除去されないが、半減期が短いので透析性は臨床的問題にならないと思われる (5)

【O/W 係数】 LogP=0.3 [1-オクタノール/水系] (1)

【相互作用】 MAO 阻害剤と併用禁忌 (1)

【効果発現時間】 30min~1hr (1)

【効果持続時間】 一般に4~6hr (1)

【更新日】 20250531

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断複数・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。